

子どもの「いじめ」を防ぎ、その傷を広げないために

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392>
 なお、本講座は2ポイント(予定)となります。

期 日:2025年1月22日(水)、25日(土)のどちらかご希望日

※ご希望日を必ず受講希望日欄にご記入・ご入力ください

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々

申込期限:2025年1月14日(火)

(お申込みは先着順となりますが、申込期限前に募集を終了する場合がございます)

受講料:7,500円(税込み)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

配信方法:『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は2024年11月10日の実開催講座(講座 No.24210)を収録し、上記の期日でオンライン配信する講座です。

今回は「いじめ」について、考えることにしました。

外来の診察場面において、学校現場における「いじめ」に対して、学校側がその対応にひじょうに苦慮されているとは思いながらも、未だに加害児童と同席して話し合うというような場面設定がなされたり、当事者が困惑、混乱してうまく語れないときでさえ、いじめに該当するかという視点のみでの詳細な聴き取りが行われる、という実態を耳にします。

平成25年にいじめ防止対策推進法が成立して10年。未だにいじめ被害は続き、自死に追い込まれる事件もあとを絶ちません。いじめから登校できなくなり、転校、転居されるかたもいます。いじめを完全に防止することは出来ないとしても、子どもたちの「傷つき」に寄り添い、あなたは悪くないと言い続け、応援することは出来るはずです。

今回は、総論的意味合いで児童精神科医の八木淳子先生に、「いじめ」の捉えかた、その対応とその後の成長についてのお話を、心理学者の仲真紀子先生には、「いじめを受けた子ども」から正しく、しかもこころに負担を掛けずに聴き取る面接の心得について、講義していただく予定です。

子どもたちの傷がこれいじょう深くならないような学びを目指したいと思います。沢山の参加を期待しています。

【企画講師:ミネルバ病院 副院長 田中 康雄】

【プログラム】 ※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。

時間	テーマ	講師(敬称略)
10:00頃~	オンライン講座の事前案内	事務局
10:10~11:45	趣旨と導入 「子どもの精神科臨床で『いじめ』が登場するとき、そこにどう向きあうか。一般児童精神科としての所作」	ミネルバ病院 副院長 田中 康雄
11:45~12:40	~ 休 憩 ~	
12:40~14:20	「いじめ」の心の傷に向きあう	岩手医科大学医学部神経精神科学講座 八木 淳子
14:30~16:05	「いじめられた子ども」の面接の心得	理化学研究所 理事 仲 真紀子
16:15~17:05	質疑応答	講師全員

オンライン講座申込み時の注意事項

あらかじめ下記の注意事項をご確認・ご了承の上、
お申込みいただきますようお願いいたします。

- 本講座は、「Cisco Webex」を用いて実施するオンライン講座です。
講座への参加、講義資料のダウンロードは PC 環境での実施を推奨しております。
なお、当財団では講座開催中の「Cisco Webex」や PC 環境・機器等に関するお問い合わせへは対応していません。
- 講座受講にあたり、インターネット環境 (Wi-Fi 等)・PC 等の機器環境は受講者の責任においてご準備ください。ご自身の PC 等機器環境、インターネット回線の障害等による講座参加上のトラブルにつきましては、当財団では責任を負いかねます。
- 講義資料につきましては、講座開催日の 1~2 週間前をめぐりにダウンロード用 URL をお送りいたします。各自ダウンロードの上、ご受講ください。
本資料・本 URL の使用は本講座受講者に限ります。URL を第三者へ共有すること、資料の二次利用は固くお断りいたします。これらの行為が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただくことがございます。
- 本講座の撮影、録画、録音は禁止します。